

12月の鉱工業生産・出荷・在庫指数速報

(1/31 経済産業省経済産業政策局調査統計部発表)

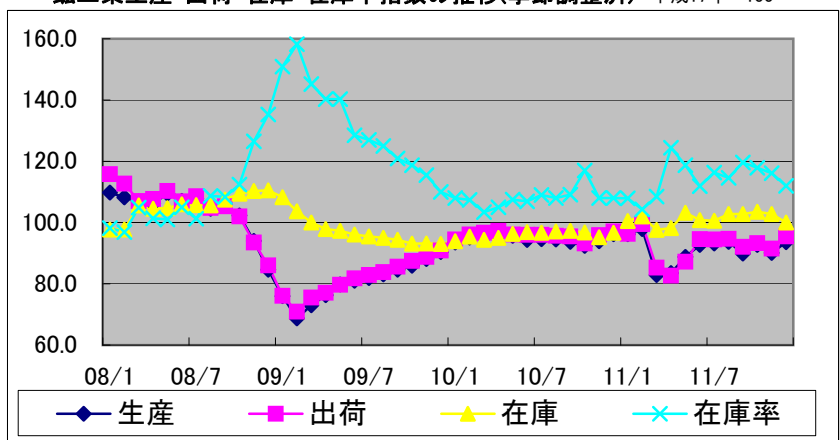
★12月の鉱工業生産は前月比+4.0%と2か月ぶりのプラス。基調判断は「生産は横ばい傾向にある」と据え置き。

- ・今月は、生産、出荷が上昇、在庫、在庫率は低下であった。
- ・製造工業生産予測調査によると、1月、2月とも上昇を予測している。
- ・総じてみれば、生産は横ばい傾向にある。

平成23年12月の鉱工業生産・出荷・在庫指数 平成17年=100

項目	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
生産	93.6	4.0	94.1	▲ 4.1
出荷	95.5	4.5	97.7	▲ 3.1
在庫	100.0	▲ 2.9	99.9	3.4
在庫率	112.0	▲ 3.6	109.5	3.8

鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率指数の推移(季節調整済) 平成17年=100



製造工業生産予測調査(季節調整済前月比(%))
平成17年=100

	23年12月	24年1月	24年2月
12月調査	4.8	3.4	
1月調査		2.5	1.2

◎12月の生産・出荷・在庫動向

1. 生産

12月の生産は、前月比4.0%の上昇と2か月ぶりの上昇(前年同月比は▲4.1%の低下)となり、指数水準は93.6(季節調整済)となった。生産の上昇に寄与した業種は、輸送機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等であった。品目別にみると、普通乗用車、携帯電話、半導体製造装置の順に上昇に寄与している。

2. 出荷

12月の出荷は、前月比4.5%の上昇と2か月ぶりの上昇(前年同月比は▲3.1%の低下)となり、指数水準は95.5(季節調整済)となった。出荷の上昇に寄与した業種は、輸送機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等であった。

3. 在庫

12月の在庫は、前月比▲2.9%の低下と2か月連続の低下(前年同月比は3.4%の上昇)となり、指数水準は100.0(季節調整済)となった。在庫の低下に寄与した業種は、電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業等であった。12月の在庫率は、前月比▲3.6%の低下と3か月連続の低下(前年同月比は3.8%の上昇)となり、指数水準は112.0(季節調整済)となった。

◎製造工業生産予測調査

製造工業生産予測調査によると、1月は前月比2.5%の上昇、2月は同1.2%の上昇であった。1月の上昇は、情報通信機械工業、輸送機械工業、一般機械工業等により、2月の上昇は、電子部品・デバイス工業、鉄鋼業、紙・パルプ工業等による。12月の実現率は0.4%、1月の予測修正率は▲0.4%となった。

◎まとめ

12月の生産は、前月比4.0%の上昇となった。また、製造工業生産予測調査によると、1月、2月とも上昇を予測している。総じてみれば、生産は横ばい傾向にある。

この資料は、直近の情報を基に、マーケットにかかわるトピックス・材料をご紹介します。しかし、情報の確実性・完結性・最終性を表明するものではありません。マーケット環境・規制の変化により、変更される場合があります。また、無断で複製または転送を行わないようお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入